



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各位

2021年4月30日

株式会社 おきぎん 経済研究所

おきぎん県内景況・速報（2021年3月分）

◎県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが停滞し、厳しい状況にある。

☆個人消費：全店ベース、既存店ベースともに前年同月を下回る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数は上回る。

☆建設関連：公共工事請負金額は前年同月を下回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

☆観光関連：入域観光客数は前年同月を下回り、観光施設入場者数も下回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)は下回る。

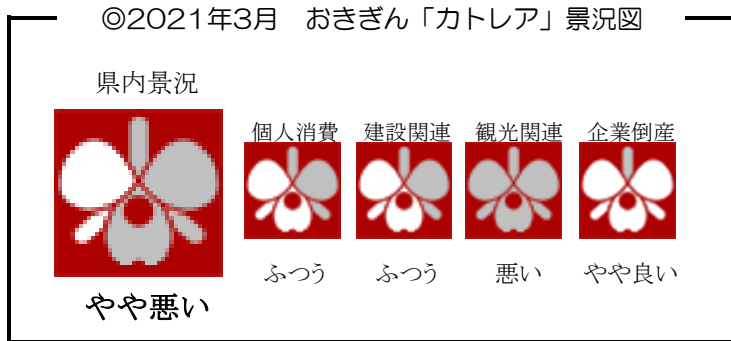
☆企業倒産：件数は前年同月と同数、負債総額は上回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：仲本、野原、與那覇 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報(2021年3月分)



◎概況：県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが停滞し、**厳しい状況にある。**

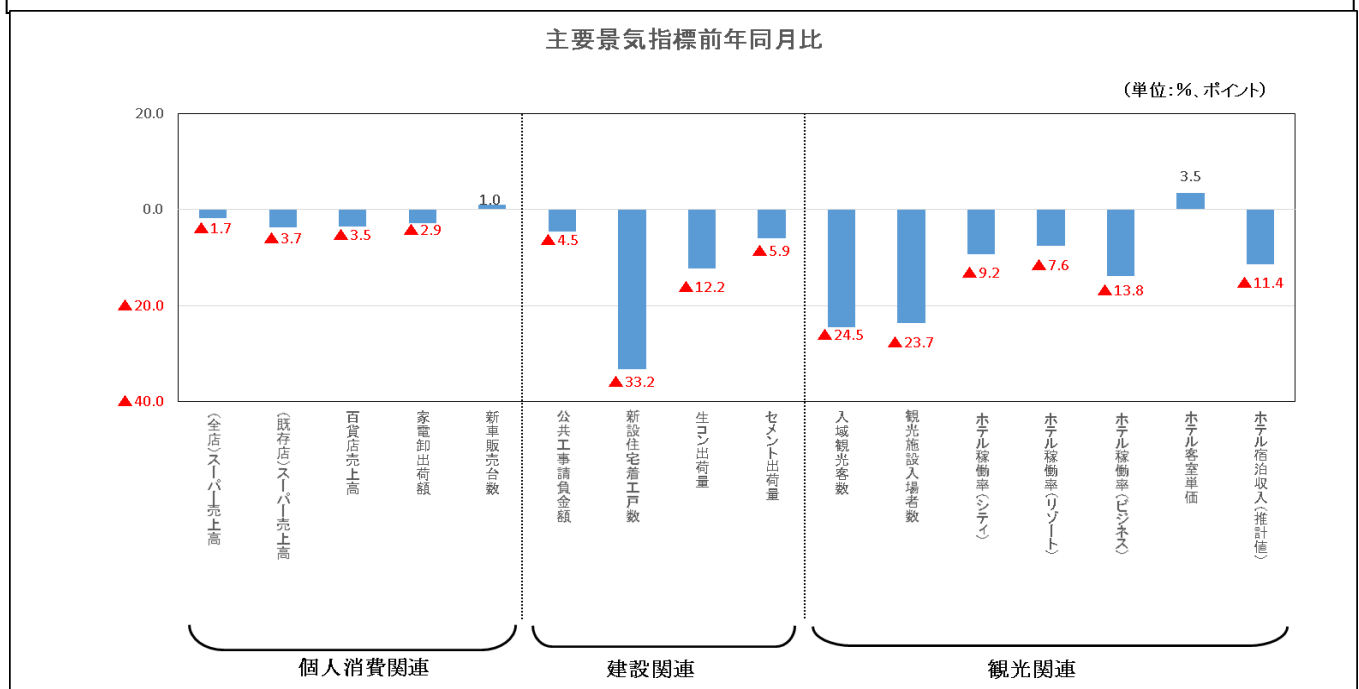
3月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を下回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数は前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を下回り、建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は15ヵ月連続で前年同月を下回り、観光施設入場者数も前年同月を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)は下回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は一部に弱さがみられ、建設関連は弱含みが続いており、観光関連は持ち直しの動きがみられたものの依然として厳しい状況にあることなどから、「**県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが停滞し、厳しい状況にある。**」と景気判断を据え置きました。

(2021年2月の下方修正から2ヵ月連続で判断維持)



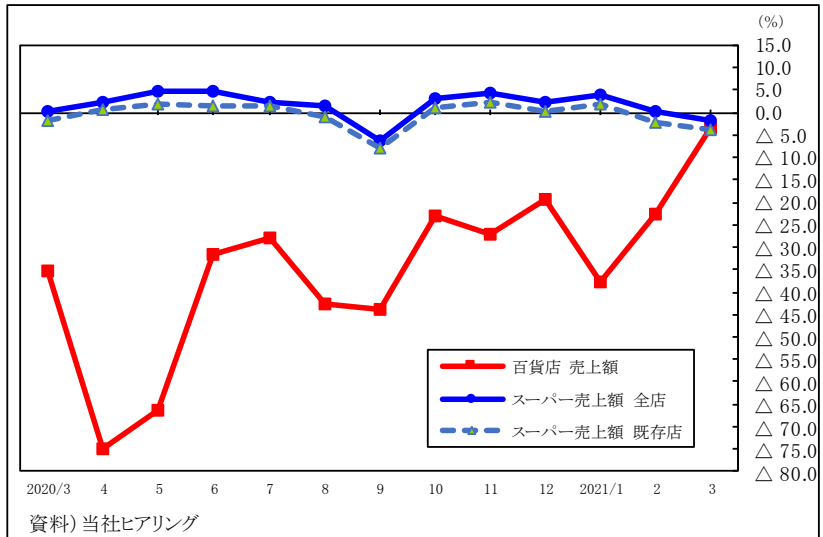


■ 個人消費： (ふつう)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を下回る。百貨店売上高は、前年同月を下回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2020/3	0.4	△ 2.0	△ 35.2
4	2.3	0.7	△ 75.1
5	4.6	1.9	△ 66.2
6	4.9	1.6	△ 31.7
7	2.2	1.3	△ 27.9
8	1.5	△ 0.8	△ 42.7
9	△ 6.1	△ 8.0	△ 44.0
10	3.3	1.1	△ 23.0
11	4.5	2.3	△ 27.0
12	2.2	0.4	△ 19.3
2021/1	3.9	1.7	△ 37.7
2	0.1	△ 2.1	△ 22.6
3	△ 1.7	△ 3.7	△ 3.5



注) 前年同月比

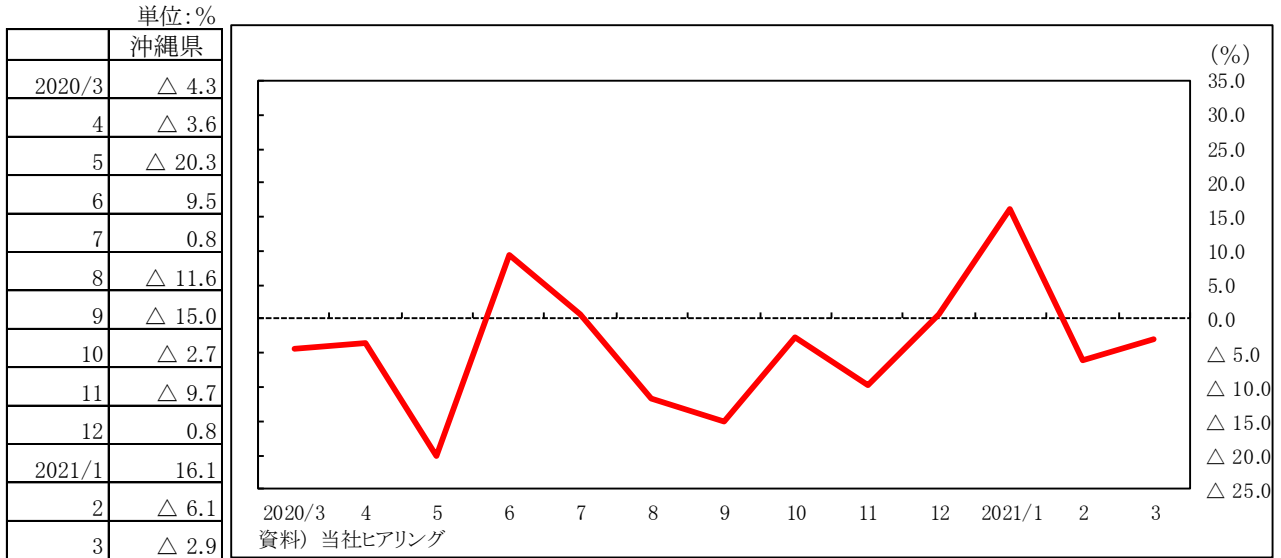
3月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 1.7%減)」は、前年の新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛等の反動から、「衣料品(同 6.7%増)」、「家庭用品(同 4.8%増)」は伸びたものの、ウェイトの大きい「食料品(同 3.9%減)」が減少し、6ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

「既存店ベース(同 3.7%減)」は、2ヵ月連続で前年同月を下回りました。品目別では、「衣料品(同 8.1%増)」は、入園・入学シーズンの式服等の需要増加や、気温が高く推移したことなどから夏物商材の需要が増加し、前年同月を上回りました。「家庭用品(同 1.3%増)」は、引き続きパソコンや空気清浄機等の家電や、マスク等の衛生用品が伸び、前年同月を上回りました。一方、ウェイトの高い「食料品(同 5.7%減)」は、前年に新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や臨時休校などによる巣ごもり需要で伸びた反動から、前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、一部テナント化に伴う売り場面積の減少により、22ヵ月連続で前年同月を下回りました(同 3.5%減)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 0.5%増)」は、緊急事態宣言明けの消費マインド回復の動きが見られたことなどから、23ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。「食料品(同 6.3%増)」は、催事企画により売上が伸び、16ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。「雑貨(同 26.7%減)」は、売り場面積の減少(テナント化)により、前年同月を下回りました。

※テナント化した店舗の影響を除いた既存店舗による比較では、雑貨(同 7.2%増)も前年同月を上回っており、全体では前年同月比 9.4%増となっています。

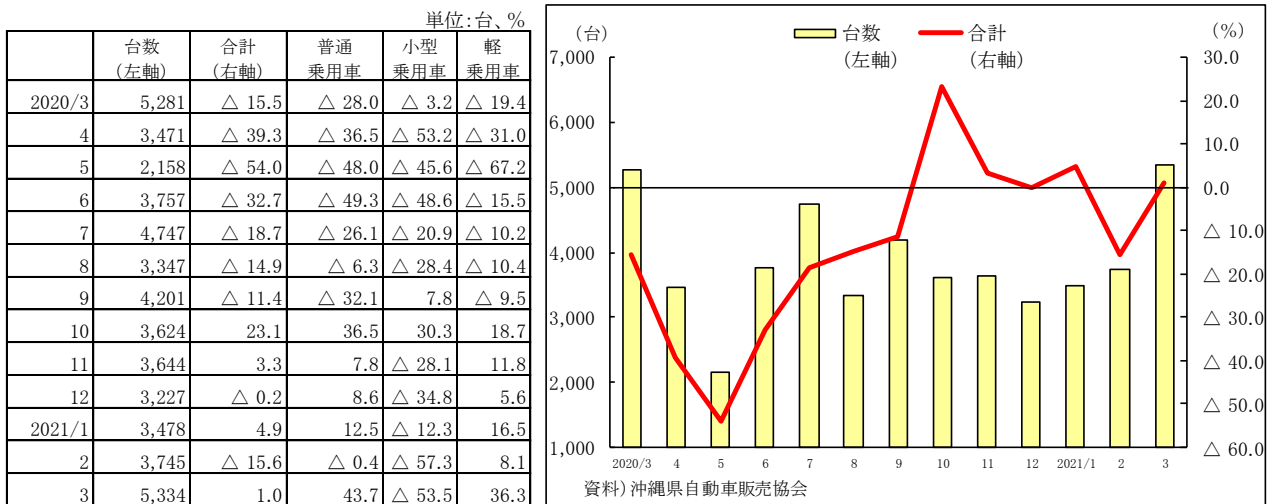
② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は2ヵ月連続で前年同月を下回る。



注) 前年同月比

家電卸出荷額は、2ヵ月連続で前年同月を下回りました(同 2.9%減)。品目別では、「エアコン(同 12.7%増)」、「洗濯機(同 5.6%増)」は、巣ごもり需要の増加などから前年同月を上回りました。一方、「テレビ(同 17.9%減)」、「冷蔵庫(同 7.8%減)」は、高価格帯商品が伸びず、単価が低下したことなどから、前年同月を下回りました。業務用家電などの「その他家電(同 7.9%減)」は、前年に工事関係の需要により伸びた反動から、前年同月を下回りました。

③ 新車販売台数…新車販売台数は、2ヵ月ぶりに前年同月を上回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

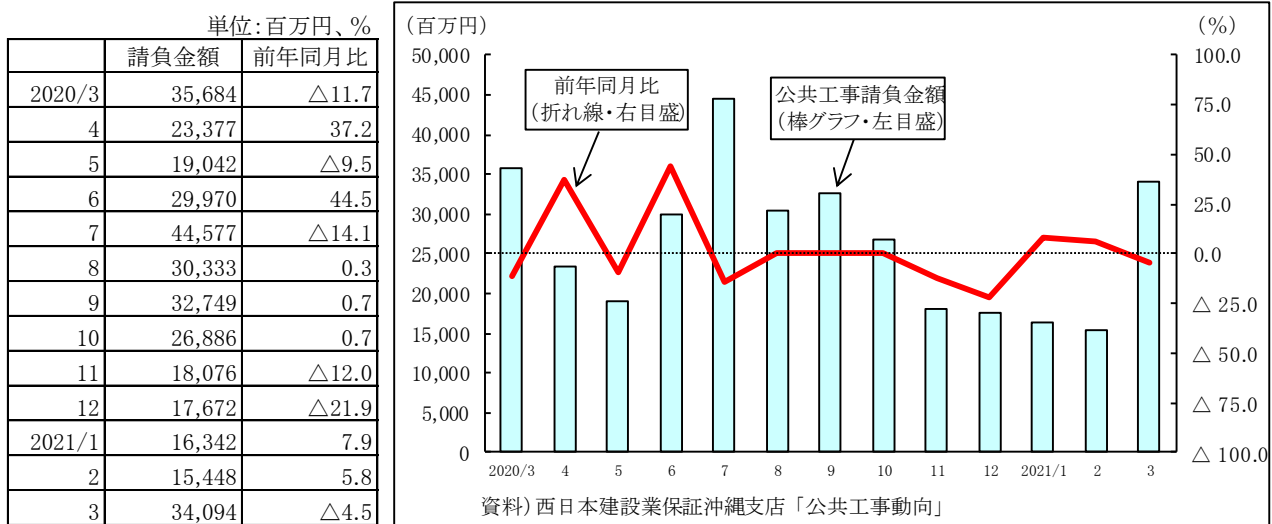
新車販売台数は、全体で5,334台(同 1.0%増)となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では、「小型乗用車(同 53.5%減)」は自家用車需要、レンタカー需要ともに減少し、前年同月を下回りました。一方、「普通乗用車(同 43.7%増)」、「軽乗用車(同 36.3%増)」は、自家用車需要、レンタカー需要ともに伸び、前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

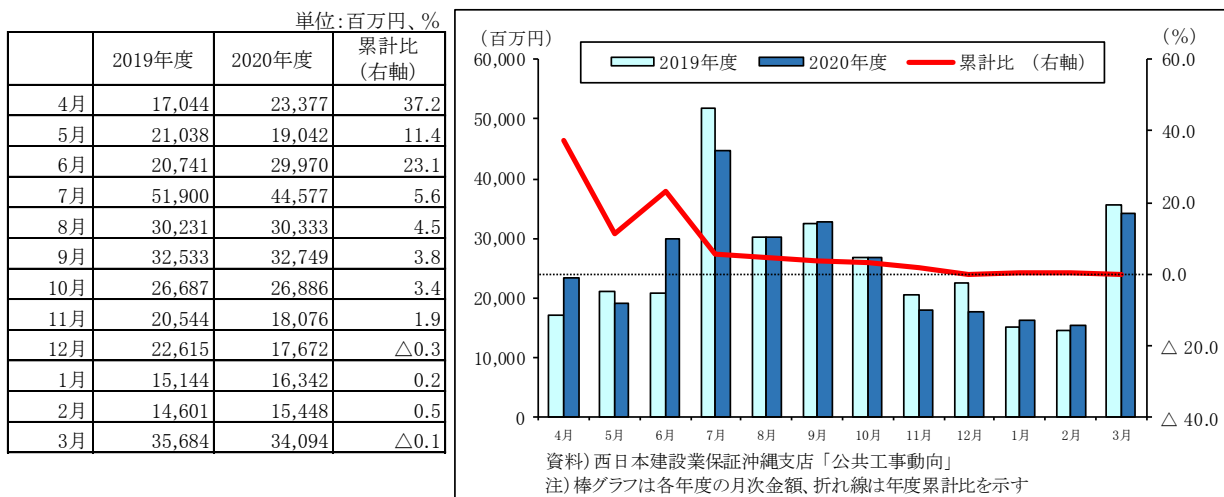


■建設関連： (ふつう)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を下回る。



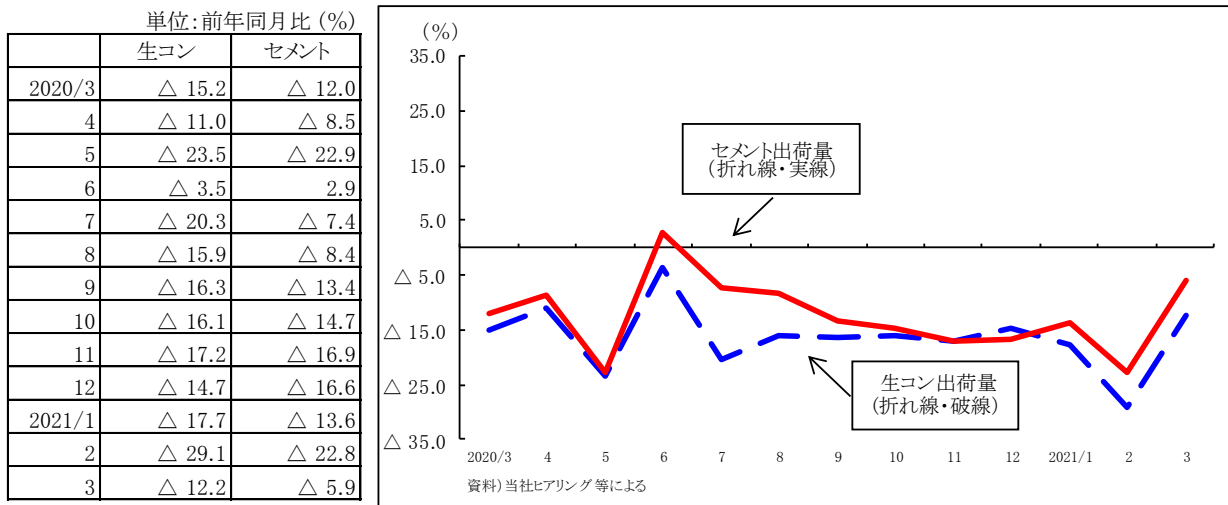
【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を下回る。



3月の公共工事請負金額は、前年同月比4.5%減の340億9,400万円となりました(3ヵ月ぶり減)。今年度累計値では、0.1%減となっています。

発注者別でみると、「国(同18.3%減)」や「独立行政法人等(同98.1%減)」、「その他の公共的団体(同16.3%減)」は前年同月を下回りました。一方、「沖縄県(同20.1%増)」や「市町村(同22.3%増)」は前年同月を上回りました。

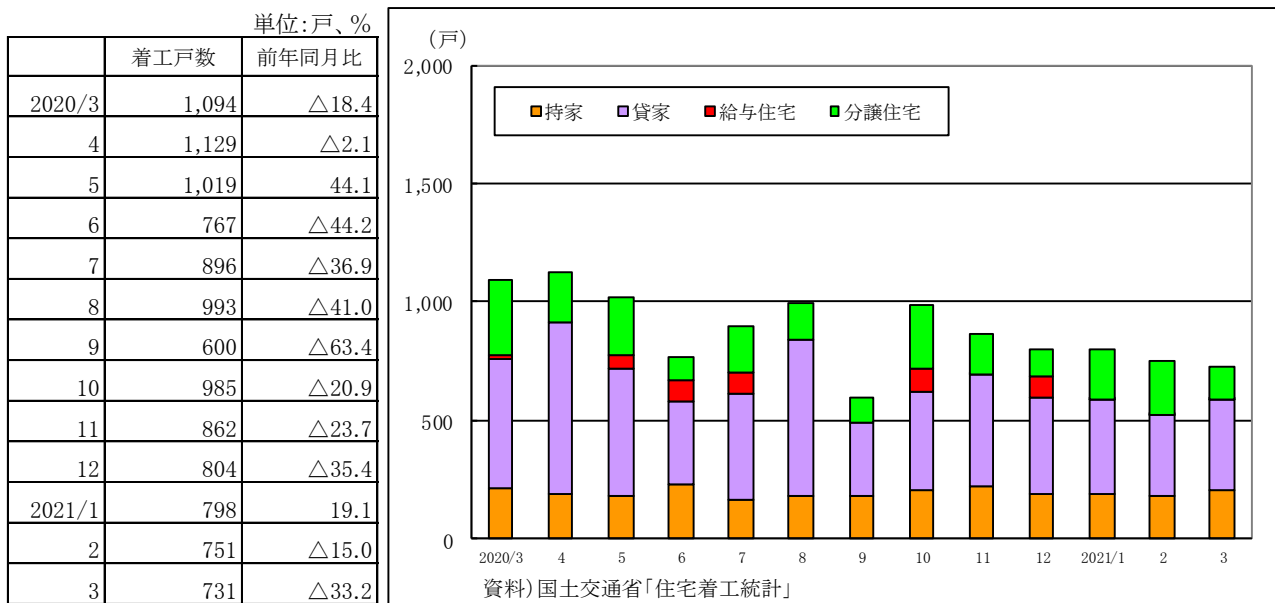
②建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を下回る。



(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

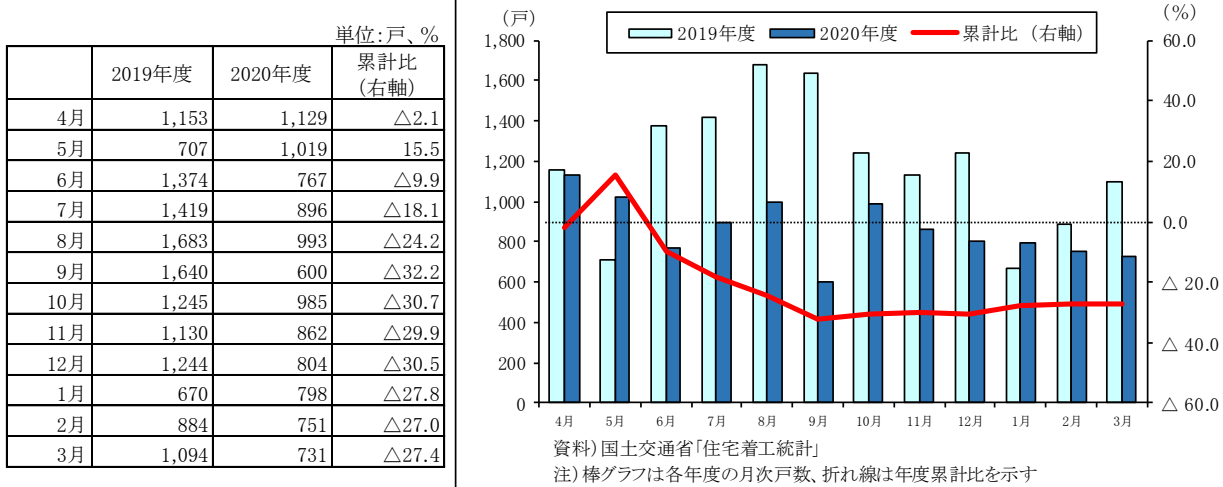
建設資材関連では、生コンの出荷量は12.2%減と14ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは、離島地区における庁舎関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より5.2%下回り、民間工事向けは、中南部地区における住宅関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より15.5%下回りました。セメント出荷量は5.9%減と9ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③住宅投資・・・着工戸数は前年同月を下回る。



3月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比33.2%減の731戸となり、2ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同30.5%減)」のほか、「分譲住宅(同55.9%減)」、「給与住宅(同92.3%減)」、「持家(同1.9%減)」のすべての項目で前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を下回る。



今年度累計値では、27.4%減となっています。



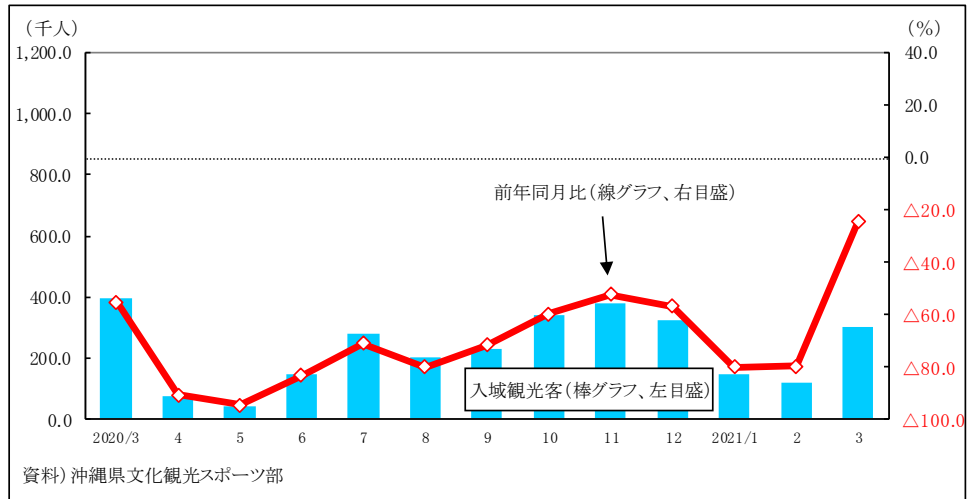
■観光関連： (悪い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・15ヵ月連続で前年同月を下回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2020/3	396.3	△ 55.2
4	77.3	△ 90.9
5	44.0	△ 94.7
6	144.1	△ 83.4
7	277.3	△ 71.2
8	202.8	△ 80.1
9	227.6	△ 71.9
10	341.2	△ 59.9
11	381.1	△ 52.3
12	326.2	△ 56.8
2021/1	144.0	△ 80.2
2	118.8	△ 79.9
3	299.2	△ 24.5

※外国客は乗務員等を含む

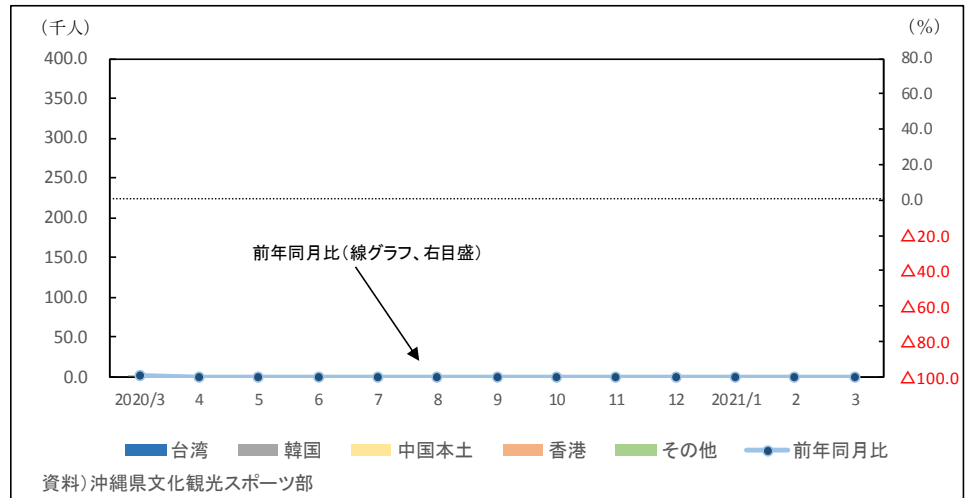


外国客 入域観光客数・・・15ヵ月連続で前年同月を下回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2020/3	2.4	△ 98.9
4	0.0	△ 100.0
5	0.0	△ 100.0
6	0.0	△ 100.0
7	0.0	△ 100.0
8	0.0	△ 100.0
9	0.0	△ 100.0
10	0.0	△ 100.0
11	0.0	△ 100.0
12	0.0	△ 100.0
2021/1	0.0	△ 100.0
2	0.0	△ 100.0
3	0.0	△ 100.0

※外国客は乗務員等を含む



3月の入域観光客数は、97,100人少ない299,200人(前年同月比24.5%減)となり、15ヵ月連続で前年同月を下回りました。

内訳をみると、「国内客(同24.0%減)」は、94,700人と14ヵ月連続で前年同月を下回りました。

3月は、航空路線での運休・減便規模が継続したこと、また、国の緊急事態宣言の影響などから、前年同月を下回りました。

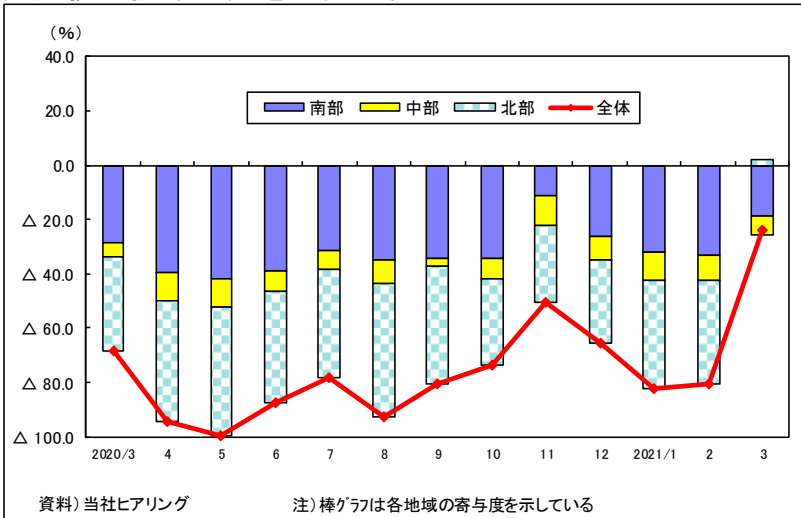
他方、「外国客(同100.0%減)」は、0人となり15ヵ月連続で前年同月を下回りました。台湾、中国、香港、韓国を含む国や地域から、日本への入国制限措置がとられたことなどから、引き続き皆減となりました。

「台湾(同100.0%減)」「韓国(同100.0%減)」「中国本土(同100.0%減)」「香港(同100.0%減)」

② 観光施設入場者数・・・20ヵ月連続で前年同月を下回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2020/3	△ 68.5	△ 68.8	△ 52.9	△ 71.8
4	△ 94.7	△ 95.6	△ 94.7	△ 93.9
5	△ 99.9	△ 100.0	△ 99.6	△ 99.9
6	△ 87.7	△ 92.4	△ 92.8	△ 82.9
7	△ 78.5	△ 83.9	△ 83.4	△ 74.0
8	△ 92.6	△ 92.3	△ 92.6	△ 92.8
9	△ 81.2	△ 86.8	△ 73.5	△ 76.4
10	△ 73.6	△ 81.8	△ 58.9	△ 65.9
11	△ 51.2	△ 38.1	△ 55.1	△ 51.7
12	△ 58.3	△ 70.0	△ 48.4	△ 51.2
2021/1	△ 81.3	△ 87.8	△ 55.0	△ 79.6
2	△ 79.1	△ 90.4	△ 75.9	△ 72.5
3	△ 23.7	△ 46.1	△ 44.3	5.2



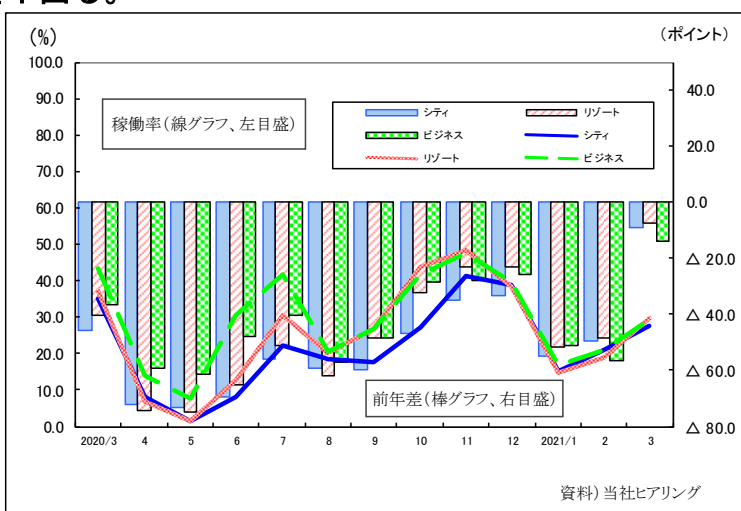
※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設
 ※2019年3月より、北部の対象施設数が変更(5⇒4)となったことから、2018年3月以降の数値を遡って改定した。
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。
 ※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえ集計している。

観光施設入場者数は、全体で前年同月より23.7%減少(20ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同46.1%減と20ヵ月連続、中部は同44.3%減と15ヵ月連続で前年同月を下回り、北部は同5.2%増と20ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回る。

単位: %、ポイント

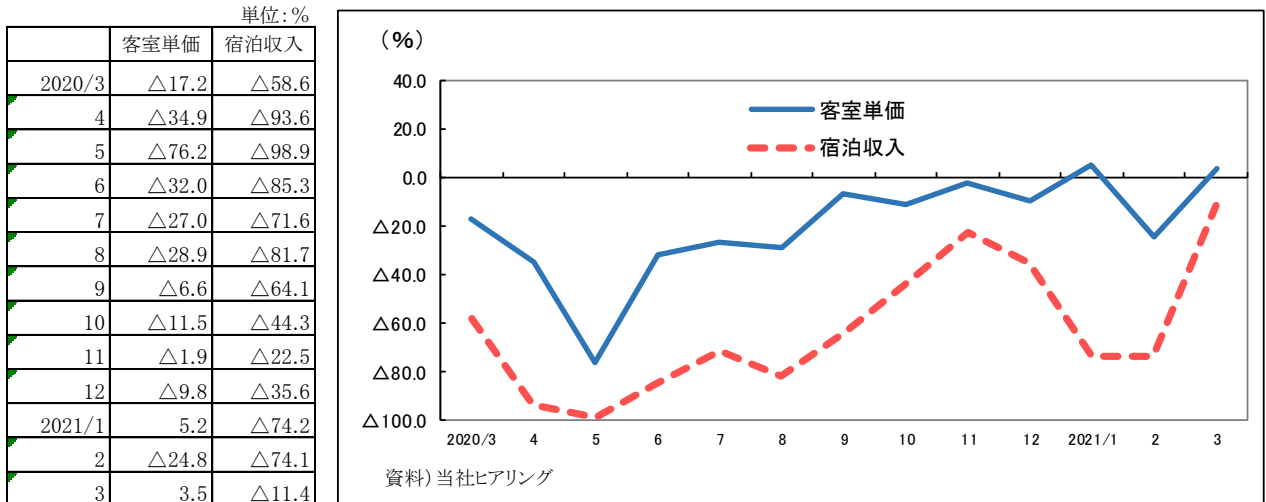
	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2020/3	34.9	37.3	43.2	△ 46.0	△ 40.1	△ 36.7
4	8.0	6.8	13.9	△ 72.2	△ 74.6	△ 59.5
5	1.3	1.4	7.6	△ 73.1	△ 74.8	△ 61.2
6	8.2	12.8	30.4	△ 69.6	△ 64.9	△ 48.1
7	22.4	30.5	41.7	△ 55.8	△ 51.4	△ 40.1
8	18.6	20.1	20.7	△ 59.5	△ 61.8	△ 56.9
9	17.6	26.6	26.7	△ 59.9	△ 48.4	△ 48.6
10	27.0	43.8	41.6	△ 46.6	△ 32.5	△ 28.4
11	41.2	48.4	47.4	△ 35.1	△ 23.0	△ 28.2
12	38.9	38.5	39.5	△ 33.2	△ 23.3	△ 25.9
2021/1	15.1	14.9	16.7	△ 55.1	△ 51.9	△ 51.4
2	21.0	18.8	20.9	△ 49.3	△ 48.3	△ 56.7
3	27.8	29.7	29.4	△ 9.2	△ 7.6	△ 13.8



注)シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル
 注)2019年11月より、ビジネスホテル対象施設数に変更(6⇒4)となったことから、2018年11月以降の数値を遡って改定した。
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。
 ※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえ集計している。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが27.8%と9.2ポイント減少(21ヵ月連続)、リゾートホテル29.7%と7.6ポイント減少(22ヵ月連続)、ビジネスホテルが29.4%と13.8ポイント減少(20ヵ月連続)しました。

④ ホテル客室単価・宿泊収入・・・客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入は下回る。



※対象施設数: 26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえ集計している。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比 3.5%増と前年同月を上回りました。**宿泊収入**は同 11.4%減と前年同月を下回りました。

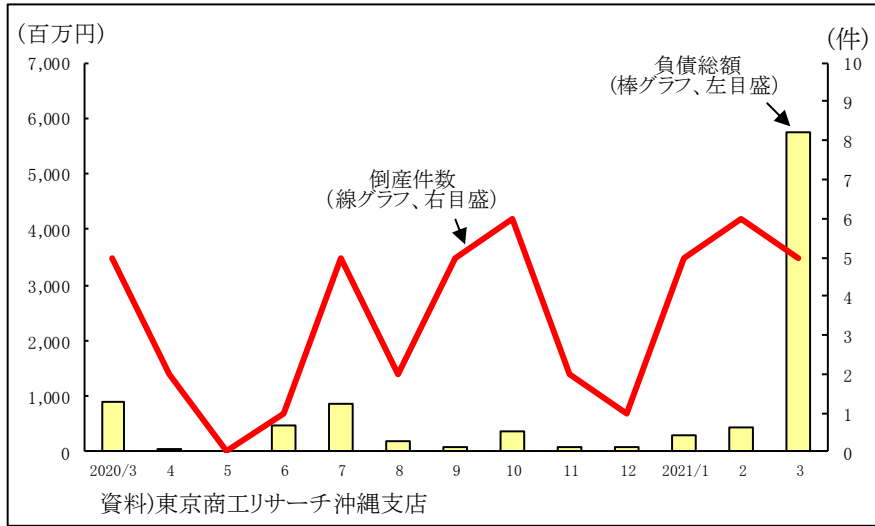


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数は前年同月と同数、負債総額は上回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2020/3	897	5
4	30	2
5	0	0
6	490	1
7	862	5
8	182	2
9	84	5
10	360	6
11	87	2
12	88	1
2021/1	312	5
2	454	6
3	5,753	5



注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

3月の企業倒産件数は、5件(うち10億円以上の大型倒産は2件)となり、前年同月と同数となりました。
負債総額は57億5,300万円となり、前年同月より541.4%上回りました。

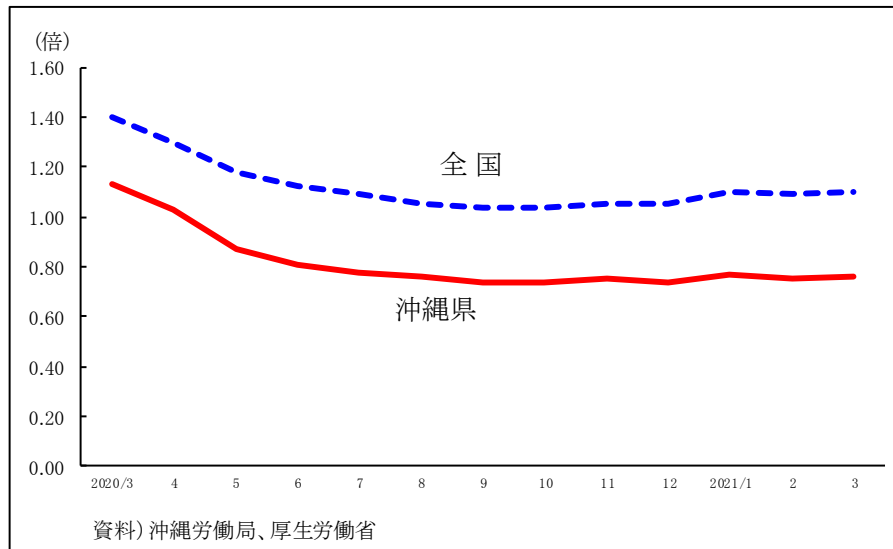


■雇用関連： (やや悪い)

①有効求人倍率・・・沖縄、全国はともに前月より上昇。

単位:倍

	沖縄県	全国
2020/3	1.13	1.40
4	1.03	1.30
5	0.87	1.18
6	0.81	1.12
7	0.78	1.09
8	0.76	1.05
9	0.74	1.04
10	0.74	1.04
11	0.75	1.05
12	0.74	1.05
2021/1	0.77	1.10
2	0.75	1.09
3	0.76	1.10



注) 季節調整済

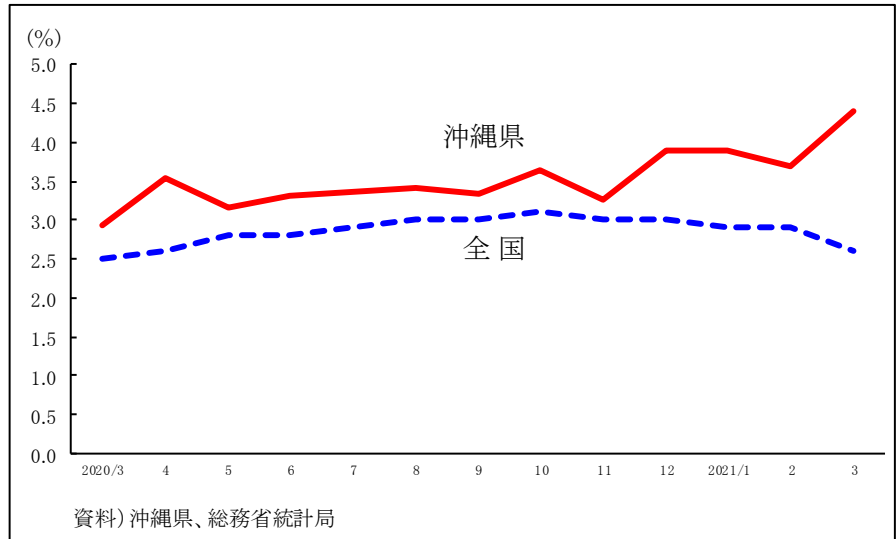
注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

3月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比0.2%減の23,027人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比0.9%減の30,450人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.76倍と、前月より0.01ポイント上昇しました。

②完全失業率・・・沖縄は前月より上昇、全国は低下。

単位:%

	沖縄県	全国
2020/3	2.9	2.5
4	3.6	2.6
5	3.2	2.8
6	3.3	2.8
7	3.4	2.9
8	3.4	3.0
9	3.3	3.0
10	3.6	3.1
11	3.3	3.0
12	3.9	3.0
2021/1	3.9	2.9
2	3.7	2.9
3	4.4	2.6



注) 季節調整済

3月の完全失業率(季節調整値)は、4.4%となり前月より0.7ポイント上昇しました。